

IPIP-PIC-J

このページには人がとる行動を表現したさまざまな文章が載っています。それぞれの文章はあなたがとる行動にどれくらい当てはまりますか。下記の1から5でお答えください。将来どうなりたいかではなく、普段の行動についてお答えください。あなたと同性で同じくらいの年齢の知り合いと接する時のあなた自身を正直に答えて下さい。それぞれの文章を注意深く読んで、最も当てはまる番号に○をつけてください。

	全くあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	あてはまる	非常にあてはまる
1 知らない人が近くにいると無口になる	1	2	3	4	5
2 注目を浴びないよう穏やかに話すことにしている	1	2	3	4	5
3 大抵のことは許すことができる	1	2	3	4	5
4 周りの人の様子を気にかけている	1	2	3	4	5
5 人の集まっているところにおいても心地よくいられる	1	2	3	4	5
6 皆の関心の中心は私であるべきだ	1	2	3	4	5
7 相手をめっちゃくちゃに言い負かす言葉を言う	1	2	3	4	5
8 人のことはあてにできない	1	2	3	4	5
9 とても非社会的だ	1	2	3	4	5
10 他の人が話をしている時はその話が終わるまで待つことにしている	1	2	3	4	5
11 物事をあるがままに受け取る方だ	1	2	3	4	5
12 相手に安心してもらえよう努めている	1	2	3	4	5
13 自ら人に話しかける方だ	1	2	3	4	5
14 自分が話の中心になることが多い	1	2	3	4	5
15 相手を否定する言葉を言う	1	2	3	4	5
16 可哀そうな話を聞いても同情する気持ちが湧いてこない	1	2	3	4	5
17 無口なほうだ	1	2	3	4	5
18 自慢して目立ってしまうことがないようにしている	1	2	3	4	5
19 何があっても相手のことを第一に考える	1	2	3	4	5
20 相手の幸せを気にかけて調子を尋ねる	1	2	3	4	5
21 集まりの場では沢山のひとと話す方だ	1	2	3	4	5
22 大きな声で目立つように話をする	1	2	3	4	5
23 人ががみがみと文句を言う	1	2	3	4	5
24 ものごとを親身になって深く考えたりはしない	1	2	3	4	5
25 多くを語らない方だ	1	2	3	4	5

(次ページに続きます)

	全くあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	あてはまる	非常にあてはまる
26 注目されて目立ってしまうことを避けるようにしている . . . . .	1	2	3	4	5
27 めったに嘘をついたりしない . . . . .	1	2	3	4	5
28 相手とうまく協調してやっっていける . . . . .	1	2	3	4	5
29 大きくて、にぎやかな集まりが好きだ . . . . .	1	2	3	4	5
30 私の言動にみな注目すべきだ . . . . .	1	2	3	4	5
31 人にきついことを言う . . . . .	1	2	3	4	5
32 相手が困っていても所詮自分には関係ないことだ . . . . .	1	2	3	4	5

\*IPIP-IPC の原版については下記を参照

Markey, P. M., & Markey, C. N. (2009). A brief assessment of the interpersonal circumplex: The IPIP-IPC. *Assessment*, 16, 352-361.

■下位尺度得点は各下位尺度を構成する4項目の平均とする

$$PA = (6 + 14 + 22 + 30) / 4$$

$$BC = (7 + 15 + 23 + 31) / 4$$

$$DE = (8 + 16 + 24 + 32) / 4$$

$$FG = (1 + 9 + 17 + 25) / 4$$

$$HI = (2 + 10 + 18 + 26) / 4$$

$$JK = (3 + 11 + 19 + 27) / 4$$

$$LM = (4 + 12 + 20 + 28) / 4$$

$$NO = (5 + 13 + 21 + 29) / 4$$

■Warmth と Dominance の得点は Wiggins et al. (1989)に従って以下の式で算出する

$$\text{Warmth} = .3[(zLM - zDE) + .707(zNO - zBC - zFG + zJK)]$$

$$\text{Dominance} = .3[(zPA - zHI) + .707(zNO + zBC - zFG - zJK)]$$

$z$  は標準化得点

Wiggins, J. S., Phillips, N., & Trapnell, P. (1989). Circular reasoning about interpersonal behavior: Evidence concerning some untested assumptions underlying diagnostic classification. *Journal of Personality and Social Psychology*, 56, 296-305.

■Warmth と Dominance の信頼性の算出については原版に倣い、以下の文献を参照のこと

Nunnally, J. C., & Bernstein, I. H. (1978). *Psychometric theory* (2d ed.). New York: McGraw Hill.

下位尺度得点として標準化得点を使用する際には下記の公式 (7.16) を使用する

$$r_{yy} = 1 - \frac{\sum b_i^2 - \sum b_i^2 r_{ii}}{\sigma_y^2} \quad (7.16)$$

( $b_i$  は変数  $z_i$  の重み付け変数、 $r_{ii}$  は変数  $z_i$  の信頼性)

標準化しない得点を使用する際には下記の公式(7.17)を使用する

$$r_{yy} = 1 - \frac{\sum b_i^2 \sigma_i^2 - \sum b_i^2 \sigma_i^2 r_{ii}}{\sigma_y^2} \quad (7.17)$$

( $\sigma_i$  は変数  $z_i$  の分散)